

中部電力グループ環境基本方針

中部電力グループCSR宣言に基づき、
環境保全に関する基本方針を以下のとおり定める。

中部電力グループは、エネルギー産業に携わるものとして、
環境経営を的確に実践するとともに、社員一人ひとりが自ら律して行動し、
地球環境の保全に努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

低炭素社会の実現をめざします

安全の確保と地域の皆さまの信頼を最優先に
原子力発電を活用するとともに、
再生可能エネルギーの利用を推進します

資源・エネルギーの効率的な利用を推進します

自然との共生に努めます

多様な生物の生態系に配慮し
事業活動を行います

循環型社会の実現をめざします

3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し
環境への負荷を低減します

地域や世界との連携を強化します

環境に配慮した行動が自発的にできる人材を育成し、
社会に貢献します

環境とエネルギーに関するコミュニケーションを深め、
環境意識の向上に努めます



中部電力グループ 環境保全への取り組み



<表紙の写真>

「中部電力グループECOポイント活動*」をはじめ、地域との連携活動における写真

*中部電力グループの従業員とその従業員とその家族を対象に、地球温暖化防止に向けた身近な活動をポイント化し、
獲得ポイントは地域社会における環境保全活動へ還元することにより、従業員の環境意識向上と環境保全につなげる活動。

- ①「篠島（愛知県南知多町）の海岸清掃イベントにおける立干網漁体験」
- ②・⑥「中田島砂丘（静岡県浜松市）におけるアカウミガメの保護活動」
- ③「三滝川（三重県四日市市）における生き物調査」
- ④「内ヶ谷山林（岐阜県郡上市）での『ちゅうでんフォレスター』認定試験の様子」
- ⑤「根の上高原（岐阜県恵那市）における『ちゅうでんインタープリター』のボランティア活動」
- ⑦「ながら川ふれあいの森（岐阜県岐阜市）での『中部電力グループECOポイント活動』10周年記念植樹のプレート」



スマートライフで地球に優しく

ご家庭向けWEBサービス「カテエネ」は、毎月の電気のご使用量の「見える化」で我が家にピッタリの省エネや電気の上手な使い方などスマートライフをサポートします。

家庭向けWEBサービス

カテエネ 検索

<https://katene.chuden.jp/>



中部電力株式会社

〒461-8680 愛知県名古屋市中区東新町1番地

TEL (052) 951-8211 (代表)

www.chuden.co.jp

環境・立地部 環境経営グループ 2017年11月発行

www.chuden.co.jp

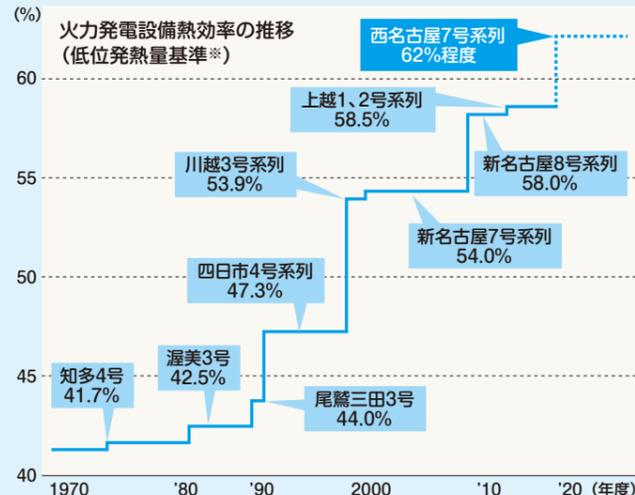
時代の先へ。ひとりのそばへ。

4つの「環境基本方針」で持続可能な循環型社会を目指します

1 低炭素社会の実現

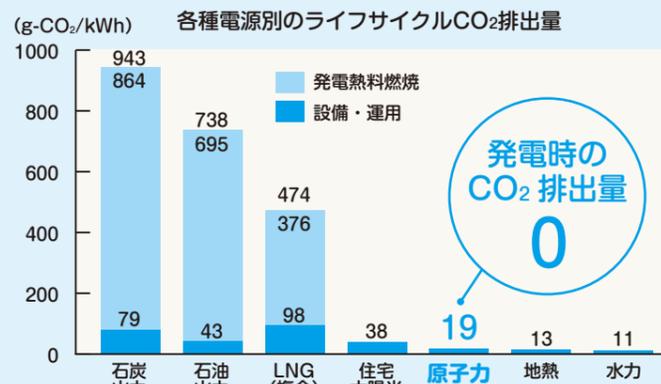
安全の確保と地域の信頼を最優先に原子力発電を活用するとともに、火力発電の熱効率向上、再生可能エネルギーの開発などに取り組み、低炭素社会の実現を目指しています。

■ 火力発電の熱効率向上



世界最高水準の熱効率を誇る西名古屋火力発電所

■ 原子力発電の活用



出典：電力中央研究所「日本における発電技術のライフサイクルCO2排出量総合評価」(2016年7月)

維持流量発電※を導入した新申原発所→

※「維持流量発電」
下流の河川の自然環境を保護するために、ダムから一定量放流される水を使用した発電のことをいいます。



■ 再生可能エネルギーの推進

コストダウンに努めつつ、他事業者との連携も視野に入れて積極的に開発を行っていきます。

当社グループの風力発電・太陽光発電の設備量※

	2017年3月末時点	2022年3月末時点(計画)
風力発電	18.0万kW	28.9万kW
太陽光発電	26.6万kW	32.5万kW

※共同事業は持分によらず全量を計上。



メガソーラーしみず (静岡県)



徳山水力発電所 (岐阜県)



多気バイオパワー (三重県)



新青山高原水力発電所 (三重県)

■ 「二酸化炭素 (CO2) 削減」を実現する技術研究開発

浮体式洋上風力発電に関する研究

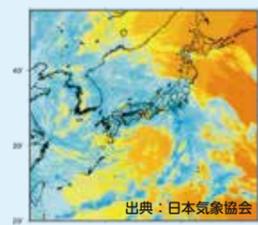


実験設備 (ういんどボール)



風車模型

太陽光発電大量導入に対応した電力系統の安定運用に関する研究



太陽光発電出力予測 (日射量予測)

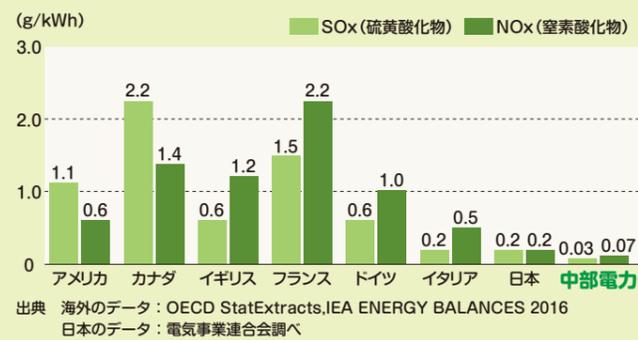


太陽光発電模擬装置、デジタルシミュレーター

2 自然との共生

地域の植生と調和した緑地整備などにより、多様な生物の生態系に配慮し事業活動を行っています。火力発電所の大気汚染対策は、世界で最も優れた水準となっています。

■ 火力発電電力量あたりのSOx、NOx排出量(国際比較)



出典 海外のデータ：OECD StatExtracts, IEA ENERGY BALANCES 2016
日本のデータ：電気事業連合会調べ

■ 生物多様性保全の取り組み

絶滅危惧種の保護技術開発	サルメンエビネ、タデスミなどの絶滅危惧種の生理・生態の解明、増殖技術の確立。
猛禽類の保全活動	日本ワシタカ研究センターなど有識者の指導を受け、発電所や送電線工事の適切な施工方法の採用。
碧南火力発電所「エコパーク」	野鳥池や外敵の侵入を防ぐ循環水路など、生物多様性の保全に配慮した「エコパーク」の整備。



電力設備周辺の希少植物の保全活動 (タデスミ)

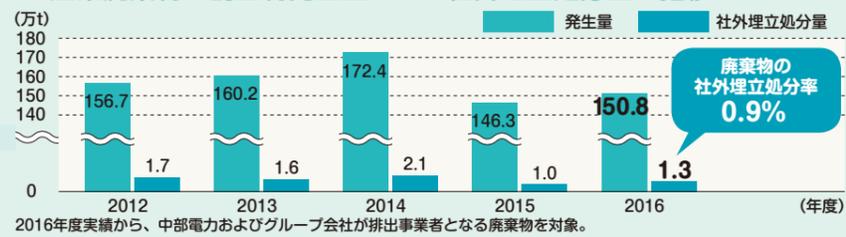


循環水路や野鳥池の整備 (碧南火力発電所)

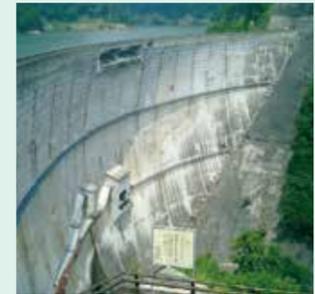
3 循環型社会の実現

廃棄物の3R (リデュース、リユース、リサイクル) を推進し、環境への負荷を低減。「廃棄物の社外埋立処分率1%未満」の目標を達成しました。

■ 産業廃棄物・副生物発生量および社外埋立処分量の推移



2016年度実績から、中部電力およびグループ会社が排出事業者となる廃棄物を対象。



フライアッシュセメントを利用した川浦ダム



フライアッシュ

石炭を燃焼させた時に発生する石炭灰のうち、電気集じん器により捕集された微粉末の灰を「フライアッシュ」、ボイラーの底部に落下した石炭灰の塊を回収し、脱水・粉砕した灰を「クリンカアッシュ」といいます。



クリンカアッシュ

4 地域や世界との連携の強化

環境に配慮した行動が自発的にできる人材を育成し、環境・エネルギーに関する社会貢献・教育活動に積極的に取り組んでいます。

■ 人材育成

2017年度で、「ちゅうでんフォレスター」270名、「ちゅうでんインタープリター」141名が誕生。



「ちゅうでんフォレスター」
間伐技術指導



「ちゅうでんインタープリター」
森林体験学習

私たちは、森を育て、人を育て、自然と共生できる社会を目指します。

■ 地域と連携した次世代層への環境・エネルギー教育



なごや環境大学共済講座「環境エネルギー塾」



■ 社会貢献活動

「間伐に寄与する紙」を印刷物に使用することで長野県の森林保全の支援につながる活動。



サポーター企業と支援先山林での間伐見学会

■ 環境啓発活動

中部地域の産官学連携により設立された「環境パートナーシップ・CLUB (通称：EPOC)」にて視察、セミナーなどの活動を推進。



梶延深地層研究センター視察の様子

■ NPOとの協働活動

フィリピンで路上生活を送る子どもたちと、環境をテーマとした交流 (環境教育・苗木植栽・花壇づくりなど) を実施。



NPOアイキャンとの協働活動



記念日植樹券活動
時ノ森における植樹の様子



三重県大紀町立大宮小学校での
キッズISO14000プログラム事業による出前授業



2018年11月12日
イオン株式会社
中部電力株式会社

再生可能エネルギーの活用に向けた新サービス提供に関する基本合意について

イオン株式会社（所在地：千葉市美浜区、代表執行役社長：岡田 元也、以下「イオン」）と中部電力株式会社（所在地：名古屋市東区、代表取締役社長：勝野 哲、以下「中部電力」）は、太陽光発電による再生可能エネルギーの固定価格での買い取りが終了を迎えるお客さま向けに、新たなサービスを提供することについて基本合意しました。

イオンは、「イオン 脱炭素ビジョン2050」を掲げ、目標のひとつとして2050年までに店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにすることを目指しています。また、中間目標としては、2030年までに店舗で排出するCO₂を総量で35%（2010年比）削減することとし、各種施策を展開しています。

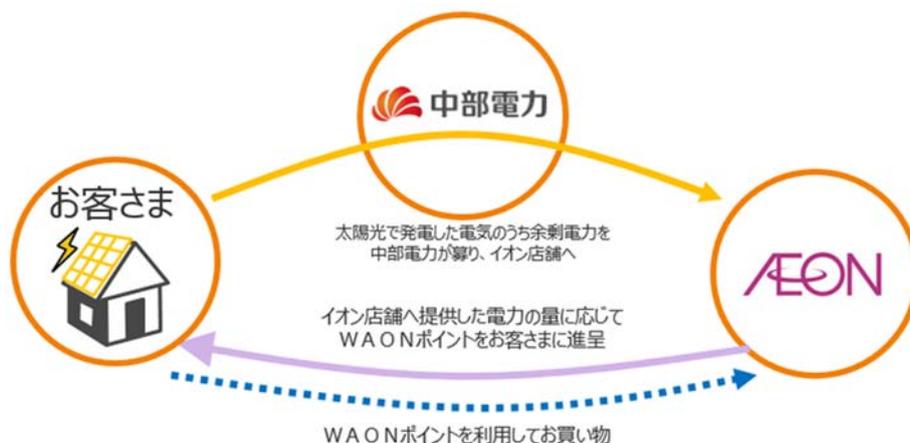
中部電力は、2019年11月以降、再生可能エネルギーの固定価格での買い取りが順次終了していくことを踏まえ、ご家庭で発電した電気を様々な形で取り引きできる「これからデンキ」のサービス提供に向けた準備を進めています。

本サービスは「これからデンキ」のサービスのひとつとして、ご家庭の太陽光発電による余剰電力を中部電力が募り、電力をご提供くださったお客さまには、その量に応じてイオンから「WAONポイント」をプレゼントさせていただくものです。また、イオンは中部電力から同電力の提供を受け、店舗運営のCO₂排出量削減の施策として活用していきます。

両社は、それぞれのもつ資源を活用し、お客さまへのよりよいサービスの提供に努め、再生可能エネルギーの利用を拡大することで、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

【サービスの概要（2019年11月開始予定）】

サービス提供エリア：中部エリア



※ 「WAONポイント」を、イオンの電子マネー「WAON」に交換することで、イオングループ内外のWAON加盟店（全国約41万1千カ所：2018年9月末現在）で、お買い物などにご利用いただけます。